

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援施設 キッズプラスいろいろ		
○保護者評価実施期間	2026年2月17日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年2月17日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別的な支援を行っている。	個別支援計画に基づき、児童の発達状況や興味関心を踏まえた活動内容を設定している。また、職員間で日々の様子や支援内容を共有し、支援の方向性を統一するよう努めている。	職員研修やケース検討を通じて支援方法の理解を深め、より専門性の高い支援が提供できるよう努めていく。
2	保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係の構築に努めている。	アプリの活用や送迎時の会話、面談などを通して、日々の様子や支援内容を共有し、保護者からの相談にも丁寧に対応するよう心がけている。	保護者のニーズや意見を支援に反映できるよう、面談やアンケートなどを通して意見を把握し、より良い支援につなげていく。
3	職員間での情報共有や連携を図りながら、支援を行っている。	職員会議や日々の引き継ぎの中で、児童の様子や支援内容を共有し、共通理解を持って支援に当たるよう努めている。	定期的な振り返りやケース検討などを行ない、支援方法の改善や質の向上につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業所運営という観点において、地域住民や地域施設との関わりを持つ機会が充分とは言えない状況がある。	日々の療育支援を中心とした運営の中で、地域との交流機会を意識的に設ける取組が充分に行えていなかったため。	地域とのつながりを広げる取組みとして、子どもたちの作品を地域施設に展示していただく機会の検討や、地域清掃活動への参加を通して地域との関わりを持つ機会をつくっていく。また、事業所便りを発行し、回覧板で配布するなど、事業所の取組みを地域へ発信し、地域に開かれた事業所運営を目指して行く。
2	保護者に対する継続的な学びや相談機会の提供が充分とは言えない。	送迎時の情報共有が行っているが、まとまった時間を確保した家族支援や勉強会の機会が少なかったため。	保護者に向けたペアレントトレーニングの開催を検討する。
3	職員研修の機会はあるが、計画的な専門研修の実施が充分ではない。	日々の支援業務の中で、外部研修への参加する時間が確保しづらかったため。	外部研修の情報を職員間で共有し、参加を促す。